

市民参加推進に関するアンケート調査 実施結果について

1 調査目的

「京都市市民参加推進計画」の取組状況を点検するに当たり、市民公募委員として実際に審議会に参画した経験に基づく率直な意見を伺うことにより、市政への参加や情報提供についての工夫・改善の方策を検討するため

2 調査主体

京都市市民参加推進フォーラム

3 実施期間

平成17年7月6日～7月20日

4 対象者

各審議会に参画する市民公募イイン（38審議会延べ90名）

5 回答数

延べ64名

6 回答結果

設問1) あなたは、審議会等の委員募集をどこで、
どのように知りましたか？（複数回答）

区 分	件 数
公共施設に備え付けたチラシ （うち、区役所18件、図書館4件）	26件
市民しんぶん（全市・区版）	16件
京都新聞	5件
市のホームページ	4件
知人の紹介	4件
区役所からの紹介	2件
女性会からの紹介	2件
市会議員の紹介	1件
保健所相談員からの紹介	1件
幼稚園のポスター	1件
銀行のチラシ	1件
京都市ごみ減量推進会議を通して	1件
大学の掲示板上に掲示していたチラシ	1件
地下鉄京都駅に備え付けたチラシ	1件

設問2) あなたが審議会等の委員公募に応募した動機・
きっかけは何ですか？

区 分	件 数
市政や個別事案に興味がある	19件
市政に自分の意見を反映させたい	18件
自己のスキルアップ	8件
経験を生かしたい	8件
市政や地域に貢献したい	6件
その他	4件

設問3) あなたは、審議会等に参画してみて、どのような感想をお持ちになりましたか？

区 分	回 答	主な意見
①大変満足だ	5件	・ 審議会を通して行動する勇気が湧いた。 ・ 気楽に率直に意見の言える審議会運営に大変満足している。 ・ 委員間で活発な意見交換ができた。 ・ 大変勉強になった。
②満足だ	29件	・ 色々な方の意見や考え方を聞くことができ、良い刺激になった。 ・ 市民の代表として意見を表明できたことに報われた気分になった。 ・ 全体的な市の仕事について知ることができた。
③どちらでもない	12件	・ 市役所の方が仕事に対して熱心に向き合っているのが分かったのはよかったが、施策の過渡期でなかなか意見が反映されにくかった。 ・ 審議での意見や要望が行政にどのようにフィードバックされ生かされているのかよくわからない。 ・ 審議内容が漠然としていて審議に参加するのが難しい。
④不満だ	9件	・ 任期が短く、開催回数が少ないので意見交換が十分にできない。 ・ 審議内容が難しく、素人ではついていけない。 ・ 審議会が、既に結果が決定している議題にお墨付きを与える場になっているように感じた。 ・ 市民の公募委員は形だけのように思える。
⑤大変不満だ	2件	・ 昨年に開催されて以来、一度も会議の招集がない。 ・ 時間が短く、回数が少ない。もっと公募委員を増やさないと意見が言いにくい。
⑥無回答	5件	

設問４）審議会等について、参加されてみて御苦労された点、運営面でお気づきの点等がございましたらお書きください。

区 分	回 答	主な意見
審議内容に関する こと	14件	・少数の委員が発言するだけで、委員全員の考え方がわからない。 ・個々に自己の意見を述べるだけで議論になりにくい。 ・実施回数が少なく、議論が中心で、市民に対する行動や働きかけが不十分だと感じた。
わかりやすい資料の 提供と公募委員の スキルアップに 関すること	11件	・配付された資料だけでは内容・意義がわかりにくい。 ・専門知識のうえで、他の委員との差を感じ、同等に審議に参加するのは難しく感じた。 ・もっと詳しい資料や情報などを事前に補足してもらう必要がある。
会議時間に関する こと	10件	・審議時間が短く十分な意見交換ができない。 ・日程、時間に制約があり、もう少し余裕が欲しい。 ・与えられている時間にしては、議論する内容が多すぎる。
会議運営に関する こと	10件	・なぜホテルを会場にして会議をやるのか疑問だ。 ・会議内容に行政用語が多すぎる。 ・仕事があるため会議の時間を調整するのに苦労した。 ・「豪華すぎる」印象を受けた。謝礼が高すぎる。
市民参加全般に関 すること	5件	・公募で参加する市民が多くなればよいと思う。 ・市民しんぶん委員公募の情報等を整理して掲載して欲しい。
審議の成果物に関 すること	3件	・色々な提案が出されても、集約されて具体化したときに、どのような不安な面がある。 ・審議会の答申内容が有意義に活用されることを期待している。
その他	6件	・初めての参加で、内容に気遣いすぎて思うような発言ができなかった。 ・偉い方々などのような話をしているのかわからない。

設問５）あなたが現在又はこれまでに最も多く参加されたことがある市民活動はどれですか？次の中から1つお選びください。

区 分	参加された市民活動
①自治会・町内会などの地域の活動	21件
②PTAなど学校関係の活動	12件
③ボランティア団体、市民活動団体などの活動	25件
④NPO法人の活動	7件
⑤職場・企業などが単位のボランティア活動	2件
⑥参加したことはない	1件

設問６）京都市政に関する情報や地域のまちづくり情報を、何を通じてお知らせになりますか。全てお答えください。また、どの媒体に力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

区 分	知っている媒体	力を入れるべき媒体
①市民しんぶん全市版	54件	17件
②市民しんぶん区版	45件	12件
③京都市情報館（市のホームページ）	26件	13件
④市民参加情報カレンダー	1件	3件
⑤京都市広報板等に掲示されているポスター	25件	8件
⑥新聞広告	19件	5件
⑦新聞・テレビ・ラジオのニュース	25件	16件

その他、情報を伝えるアイデアがあれば御記入ください。

区 分	件 数
地域団体の活用	7件
HPやメールマガジンの活用	6件
テレビ・ラジオ・新聞の活用	3件
区役所等の公共施設の活用	2件
これまでの広報手法の活用	2件
その他	3件

設問 7) あなたは、市政情報や地域のまちづくり情報について、どのような感想をお持ちですか？

区 分	回 答
①得やすい	16件
②得にくい	23件
③どちらでもない	19件

設問 8) あなたが知っている市民参加手法はどれですか。全てお答えください。また、今後、どの手法に力を入れるべきだと思われますか。(複数回答)

区 分	知っている手法	力を入れるべき手法
①審議会の公開	40件	9件
②審議会委員の公募	52件	14件
③パブリック・コメント	22件	6件
④電子会議室	16件	3件
⑤アンケート・モニター調査	29件	8件
⑥住民投票制度	12件	6件
⑦ワークショップ	21件	7件
⑧京都市政出前トーク	34件	14件
⑨ホームページによる行政情報の発信	34件	12件
⑩その他	1件	1件

設問 9) その他、京都市が市民参加を進めていくために、問題点や改善点など、お気づきの点がございましたらお書きください。

区 分	回 答	主な意見
審議会全般に関すること	12件	・審議の対象となる事業やイベント等を委員が実地で見聞する機会をつくるべきだ。 ・あまり堅苦しくない雰囲気をつくり、公募委員が気楽に参加できる場を増やしてもらいたい。 ・不安などを聞いてもらえるようなコミュニケーションを事務局にとってもらいたい。
市政全般に関すること	10件	・行政の評価を信頼性の高いアンケート調査で測定し、計画と差があれば迅速に修正することが必要だ。 ・市民に京都市のことを知ってもらう一貫として市役所の見学会などを実施し、市役所が身近に感じられるような取組をしてみてもどうか。
公募委員の充実等誰もが参加しやすい審議会に関すること	10件	・市民公募委員主体の審議会があってもいいのではないか。 ・審議会における公募委員の割合を増やすべきだ。 ・市民公募委員に対してどのような役割が求められているかをきっちり説明すべきだ。
市民参加手法の充実に関すること	7件	・地元住民が自分たちの問題や課題を考えるためのワークショップの充実が必要である。 ・パブリック・コメントは、今までにどんな意見があったのかを掲載すべきだ。 ・現状を見る限り市政に興味を示す人はごく一部のようだ。市民参加の意義を広く周知することが必要だ。
情報提供の充実に関すること	6件	・どこかの団体に所属しない限り、情報が得にくいことに問題がある。 ・一般市民には広報が届きにくい。 ・市民の窓口は、もっと前面に出てこないといけないと思う。情報開示やアピールが不足していると思う。
イベントの充実に関すること	5件	・市民が参加できるイベントを広く広報して欲しい。興味を持っていても見つけにくく参加しにくい。 ・京都には数多くの市民参加のイベントがあるので、より多くの市民を参加させ、楽しさを体験してもらうことで市民参加を一層進めるべきだ。
区役所機能の充実に関すること	3件	・アンケート、モニター調査は区役所主体で実施すべきだ。 ・可能な限り、区への分権化を進める必要があるのではないか。 ・市民の窓口はまず区役所だ。市民に親身に対応し、関係部署を案内してくれる窓口(部署)が必要だ。
これまでの広報・広聴手法の活用に関すること	2件	・市民しんぶんが配布されて目に入る頃には行事日程が迫っており、参加の機会が失われるケースがある。重複になっても何度か掲載して欲しい。

